

学校評価アンケートの結果

ご協力ありがとうございました。



1 肯定的評価の割合（◎○の評価の割合）

回答数 児童151名、保護者152名（述べ）、教職員17名 前年より低い割合太字 単位%

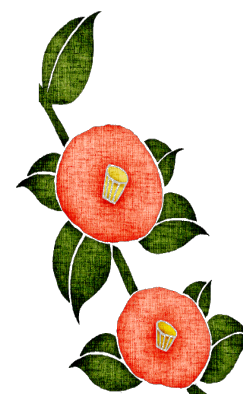
項目	番	評価設問	年度	◎○		
				児童	保護者	教職員
頭 ▼ すすんで へんげんが あつまる子	1	お子様は、授業の学習が楽しいと思う。	R5	93	89	82
			R4	95	86	80
	2	お子様は、授業で学習した内容をわかっている。	R5	93	86	76
			R4	92	88	70
3	お子様は、自分から進んで学習している。	R5	85	66	65	
		R4	90	65	70	
4	お子様は、先生や他の子の発言を聞いている。	R5	95	89	53	
		R4	95	87	80	
心 ▼ みんないち やみこころ あつまる子	5	お子様は、学校へ行くのが楽しみである。	R5	90	89	82
			R4	92	90	80
	6	お子様は、挨拶や返事を元気にしている。	R5	92	85	82
			R4	94	88	60
7	お子様は、ルールやマナーを守って行動している。	R5	89	85	65	
		R4	94	91	60	
8	お子様は、おもいやりのある行動をしている。	R5	87	84	100	
		R4	93	90	80	
体 ▼ すすんで こころあ つまる子	9	お子様は、ルールを守って安全に運動している。	R5	91	91	76
			R4	93	93	60
	10	お子様は、自分から進んで運動している。	R5	90	76	71
			R4	89	73	70
11	お子様は、盛りつけた分を残さず食べている。	R5	87	72	88	
		R4	87	78	40	
12	お子様は、食事のマナーを意識して食べている。	R5	89	64	63	
		R4	89	61	50	

2 学校や学級、家庭に関する設問（保護者） 単位%

項目	No	評価設問	年度	◎	○	△	×
学校や学級 ▼	13	学校便りや参観日等で、教育方針や内容などについて伝えている。	R5	42	54	4	0
			R4	38	55	7	5
	14	通信票や面談、連絡帳などで、子どもの状況について伝えている。	R5	45	49	6	0
			R4	44	53	2	1
	15	病気やけがなどの場合、速やかに連絡し、適切に対応している。	R5	54	45	1	0
			R4	52	45	3	0
16	暴風雨や地震、大雪等、自然災害時に際し、適切に対応している。	R5	60	39	1	0	
		R4	56	43	1	0	
17	いじめの未然防止や発生した時の指導など、適切に対応している。	R5	30	63	8	0	
		R4	38	55	6	1	
家庭 ▼	18	早寝・早起き・朝ご飯等の基本的な生活習慣が身についている。	R5	28	45	22	5
			R4	24	58	17	1
	19	家庭で宿題や一人勉強、読書などの学習習慣が身についている。	R5	21	49	26	4
			R4	18	57	24	1
20	田子町やPTA、子ども会など、地域の行事や活動に参加している。	R5	13	45	36	7	
		R4	15	51	32	2	

2 学校や学級、家庭に関する設問の考察

- ◎の割合が昨年度より増えた項目が多く、◎と○の肯定的な評価も昨年度並みの割合でした。
- ▲「17 いじめの未然防止…」について、◎の割合が昨年に比べ減少しています。児童が安全安心に学校へ通えるようにするためにも、この項目の割合が高くなるよう、日々、児童の観察をし、いじめの未然防止に努めていかなくてはなりません。保護者の皆様も、お子様の様子で、いつもと違うところ、気になることがございましたら、いつでもご連絡ください。
- ▲「18、19、20」の項目については、いずれも◎と○の肯定的評価が減り、△や×が増えています。それだけ、家庭での様子を厳しく捉えて評価していただいたものと思われます。学校としても、基本的な生活習慣の重要性、進んで学習することの大切さ等をさらに指導してまいりたいと思います。
- ▲「20」の項目については、PTAの早朝奉仕作業、運動会の会場準備や片付け、学年レク等に、たくさんご協力いただいております。感謝しております。もう少し評価していただいても良いのではないかと考えております。地域の行事や子ども会の活動については、引き続き呼びかけてまいります。



1 肯定的評価の割合に関する考察

- ◎○の割合は概ね85%以上となっており、前向きな評価が多いことがわかります。以下は特に気になる項目です。
- ▲「頭」の面では「3 自分から進んで学習…」の所で、保護者・教職員と児童の間で約20%差があります。昨年までと同じ傾向ですので、学校では、宿題のあり方や内容などを工夫していく必要があると考えています。
- ▲「心」の面では「7 ルールやマナー」、「8 思いやりのある行動」が、昨年に比べ割合が下がっています。ルールやマナーについては、児童・保護者と教職員とで差が縮まってきていることは、認識が近づいてきているので好ましいことだと感じます。「マナーやルールを守っている」と自信をもって言えるよう今後も指導していきたいと思ひます。思いやりについては、教職員の評価に対して、児童・保護者の高い評価の割合が低いという例年とは違う傾向が出ています。ご家庭での様子なども含めて、お子様の様子を厳しい目で評価して下さったのではないのでしょうか。
- ▲「体」の面では、全体的に昨年と同様の傾向にあります。特に「11 盛りつけた分」の教職員評価は昨年度の倍。給食時間の改善を表していると考えます。マナーの面でも、保護者・教職員ともに割合が上昇してきていて改善が見られます。

☆次号では、「記述」していただいた事項についてお答えするようになりたいと思ひます。